スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県大垣市

自 治 体 名 ： 岐阜県大垣市
担 当 課 名 ： 大垣市教育委員会　社会教育スポーツ課
電 話 番 号 ： 0584-47-8038

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	206.57㎢
人口	156,488人
公立中学校数	10校
公立中学校生徒数	4,016人
部活動数（運動部活動のみ）	100部活
地域クラブ活動数	46クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

〇部活動地域展開状況

・令和7年9月の段階で運動系46の地域クラブが展開し活動中。文化系も吹奏楽4、合唱1の5つの地域クラブが展開済み。展開率は80%を超えている。

課題

- ソフトテニス等、一部競技種目での指導者不足による未展開
- 近隣市町からの加入依頼検討（現在、市外からの受入はしていない）
- 休日しか指導できない指導者からの要望対応（土日どちらか3時間は短すぎる）
- 運営母体の協議（教育委員会主体から体育連盟主体へ　移管先の検討）
- 平日展開に係る調整（謝金、学校部活動との兼ね合い等）
- 市民へのPR不足　地域全体で支える仕組みづくりの構築
- 文化スポーツ活動に全く興味を示さない生徒についての対応

実施時期	令和6年4月	令和6年9月	令和7年4月	令和7年9月	令和8年4月（令和7年11月時点予定）
展開部活動数	3	12	27	30	15
展開数累計（展開率）	3（3%）	15（15%）	42（42%）	72（72%）	87（87%）
地域クラブ設立数	3	7	18	18	10
地域クラブ累計	3	10	28	46	56



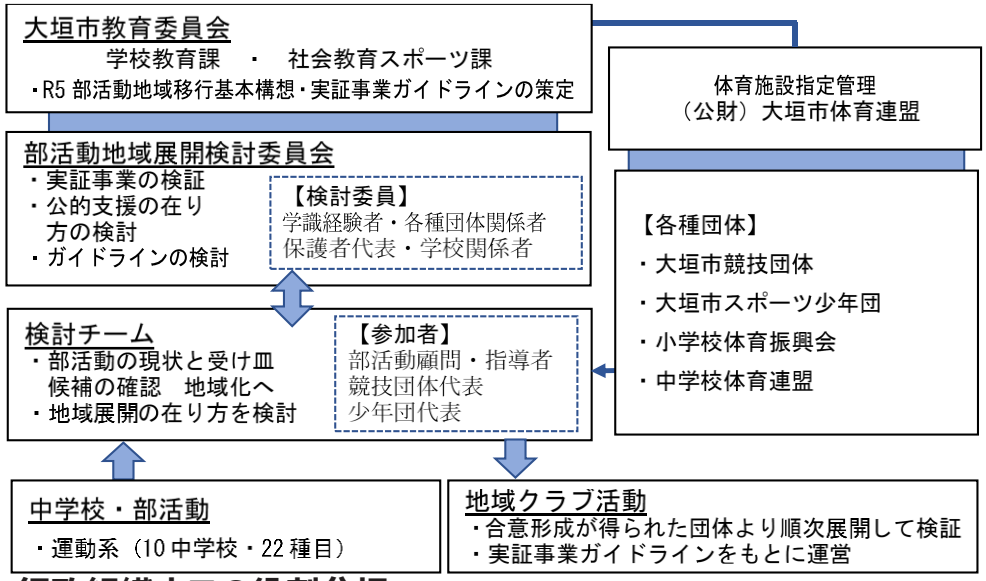
今後、新たな競技種目の設置検討
地域クラブの吸収合併休部等の検討

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（社会教育スポーツ課）
・部活動地域展開推進事業の主管課
・部活動検討委員会、運動系検討チームの事務局
・（公財）大垣市体育連盟との連携
・少年団・地域スポーツ団体の実態把握と情報共有
・地域スポーツ団体や関連団体への調査等の事務局

◉教育委員会（学校教育課）
・学校との連絡・調整
・学校に対する各種調査等の事務局

年間の事業スケジュール

月　日	内　　容
4月	・中学校校長会、希望する学校の部活動
5月8日～	育成会において市の進捗状況等を説明
23日	・第1回検討チーム9競技
6月3日	
6月18日～	・岐阜県地域クラブ活動推進会議
25日	・市内教員を対象にアンケート調査
7月15日	・西濃地区地域クラブ推進会議
8月15日	・新たな地域クラブ活動実施検討会
8月中旬～	実証事業説明会
25日	・企業へ地域展開に関するアンケート調査
28日	・中学校長と実施主体代表者の合意形成
9月24日	・スポーツ推進審議会
10月15日	・教育長と校長会　地域展開を語る会
28日	・大垣市教育総合会議　現状説明
11月14日	・基金使用について企業と打合せ
～21日	・八戸市より地域展開視察受け入れ
12月1日～	・第2回検討チーム5競技
15日	・大垣市クラウドファンディング開始
17日	・大垣市地域展開検討委員会
1月27日	・定例教委　生徒と地域展開を語る会
3月	・新たな地域クラブ活動実施検討説明会
	・中学校長と実施主体代表者の合意形成

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		46クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		46クラブ（部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	114人	全体の運営スタッフ数	46人（代表者数）

②各地域クラブ活動に関すること

地域クラブ活動名	運営団体	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者	事業開始	指導者数	代表者数	会費	大会参加方法
星和FC	競技団体	サッカー	平日2回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：11 2年：13 1年：16	令和6年4月	5	1	6,000円/年	中体連他 地域クラブで参加
尚武会なぎなたクラブ	競技団体	なぎなた	平日1回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：4 2年：1 1年：3	令和6年4月	3	1	3,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
星桜会 （大垣北部剣道クラブ）	部活 外部指導者	剣道	平日1回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：3 2年：13 1年：2	令和6年4月	4	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣北部野球クラブ	少年団	野球	休日1回	休日 午前/午後	3年：15 2年：3 1年：1	令和6年9月	2	1	3,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣東FC	競技団体	サッカー	平日3回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：12 2年：10 1年：8	令和6年9月	4	1	2,400円/月	中体連他 地域クラブで参加
Spring Handball Club 江並&西	競技団体	ハンドボール	平日3回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：6 2年：9 1年：7	令和6年9月	3	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣東部野球クラブ	少年団	野球	休日1回	休日 午前/午後	3年：10 2年：13 1年：2	令和6年9月	2	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること

地域クラブ活動名	運営団体	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者	事業開始	指導者数	代表者数	会費	大会参加方法
西部バレーボールクラブ	競技団体	バレーボール男子	休日1回	休日 午前/午後	3年：3 2年：9 1年：15	令和6年9月	1	1	約1,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
S Violet H.C	競技団体	ハンドボール	平日2回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：11 2年：7 1年：5	令和6年9月	2	1	3,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣中央野球クラブ	少年団	野球	休日1回	休日 午前/午後	3年：10 2年：10 1年：14	令和6年9月	3	1	1,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
KOUBUN	部活 外部指導者	バスケットボール男子	平日3回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：8 2年：2 1年：17	令和7年4月	1	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣中央クラブ	少年団	剣道	休日1回	休日 午前/午後	3年：9 2年：7 1年：4	令和7年4月	3	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
上石津 バレーボールクラブ	少年団	バレーボール	平日2回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：0 2年：6 1年：5	令和7年4月	1	1	8年生20,000円/年 9年生7,200円/年	中体連他 地域クラブで参加
赤坂BC	部活 外部指導者	バドミントン	休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：9 2年：11 1年：11	令和7年4月	3	1	3,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
西部サッカークラブ	競技団体	サッカー	平日2回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：14 2年：6 1年：4	令和7年4月	2	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣東陸上クラブ	部活 外部指導者	陸上	平日4回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：9 2年：7 1年：7	令和7年4月	2	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣南TTC	部活 外部指導者	卓球	休日1回	休日 午前/午後	3年：10 2年：13 1年：9	令和7年4月	3	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
西部TC	部活 外部指導者	卓球	休日1回	休日 午前/午後	3年：12 2年：7 1年：9	令和7年4月	5	1	3,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
星和BC	部活 外部指導者	バドミントン	休日1回	休日 午前/午後	3年：6 2年：6 1年：18	令和7年4月	2	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
江並S.C	競技団体	サッカー	平日3回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：15 2年：4 1年：8	令和7年4月	6	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
FC WEST	競技団体	サッカー	平日3回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：6 2年：13 1年：8	令和7年4月	3	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること

地域クラブ活動名	運営団体	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者	事業開始	指導者数	代表者数	会費	大会参加方法
大垣東クラブ	少年団	剣道	休日1回	休日 午前/午後	3年：12 2年：11 1年：12	令和7年4月	5	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
尚武会なぎなたクラブ （西部）	競技団体	なぎなた	休日1回	休日 午前/午後	3年：7 2年：5 1年：10	令和7年4月	2	1	1,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
西部・赤坂クラブ	少年団	剣道	休日1回	休日 午前/午後	3年：12 2年：12 1年：6	令和7年4月	4	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
FC MINAMI	競技団体	サッカー	平日4回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：6 2年：12 1年：2	令和7年4月	3	1	2,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
陸岐道陸上競技クラブ	競技団体	陸上	休日1回	休日 午前/午後	3年：6 2年：3 1年：2	令和7年4月	2	1	3,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣東	部活 外部指導者	バドミントン	平日1回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	3年：13 2年：11 1年：15	令和7年4月	2	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
S-Lazo	部活 外部指導者	ソフトテニス	休日1回	休日 午前/午後	3年：10 2年：14 1年：22	令和7年4月	1	1	1,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
赤坂バスケットボールクラブ	部活 外部指導者	バスケットボール男子	平日3回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：2 1年：12	令和7年9月	1	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣西TTC	部活 外部指導者	卓球	休日1回	休日 午前/午後	2年：9 1年：9	令和7年9月	2	1	1,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
S大垣西部	競技団体	ハンドボール	平日2回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：0 1年：13	令和7年9月	4	1	約900円/月	中体連他 地域クラブで参加
Levant	部活 外部指導者	ソフトテニス	休日1回	休日 午前/午後	2年：6 1年：11	令和7年9月	2	1	1,000円/月	中体連他 地域クラブで参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること

地域クラブ活動名	運営団体	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者	事業開始	指導者数	代表者数	会費	大会参加方法
興文T.T.C	部活 外部指導者	卓球	休日1回	休日 午前/午後	2年：4 1年：5	令和7年9月	1	1	1,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣ジュニア バスケットボールクラブ	部活 外部指導者	バスケットボール女子	平日3回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：2 1年：18	令和7年9月	1	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
AKASAKA	部活 外部指導者	バスケットボール女子		平日：夜 休日：午前/午後	2年：3 1年：7	令和7年9月	2	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣西部BC	部活 外部指導者	バドミントン	休日1回	休日 午前/午後	2年：5 1年：12	令和7年9月	2	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
興文STC	部活 外部指導者	ソフトテニス	休日1回	休日 午前/午後	2年：12 1年：14	令和7年9月	2	1	700円/月	中体連他 地域クラブで参加
FC K-UNITED	競技団体	サッカー	平日2回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：0 1年：13	令和7年9月	1	1	1,300円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣東VC	競技団体	バレーボール女子	平日3回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：10 1年：3	令和7年9月	1	1	1,500円/月	中体連他 地域クラブで参加
興文ハンドボールクラブ	部活 外部指導者	ハンドボール男子	休日1回	休日 午前/午後	2年：3 1年：10	令和7年9月	3	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
興文バレーボールクラブ	競技団体	バレーボール女子	平日2回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：8 1年：14	令和7年9月	1	1	2,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
星和女子 バスケットボールクラブ	部活 外部指導者	バスケットボール女子	平日1回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：4 1年：7	令和7年9月	2	1	830円/月	中体連他 地域クラブで参加
西部STAR	競技団体	バレーボール女子	平日1回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：9 1年：10	令和7年9月	3	1	3,000円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣南バドミントンクラブ	部活 外部指導者	バドミントン	休日1回	休日 午前/午後	2年：7 1年：12	令和7年9月	1	1	500円/月	中体連他 地域クラブで参加
大垣東TC	部活 外部指導者	卓球	平日2回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：20 1年：11	令和7年9月	4	1	1,200円/月	中体連他 地域クラブで参加
OGAKI WEST	部活 外部指導者	バスケットボール男子	平日4回 休日1回	平日：夜 休日：午前/午後	2年：11 1年：5	令和7年9月	2	1	750円/月	中体連他 地域クラブで参加

2.実証内容と成果

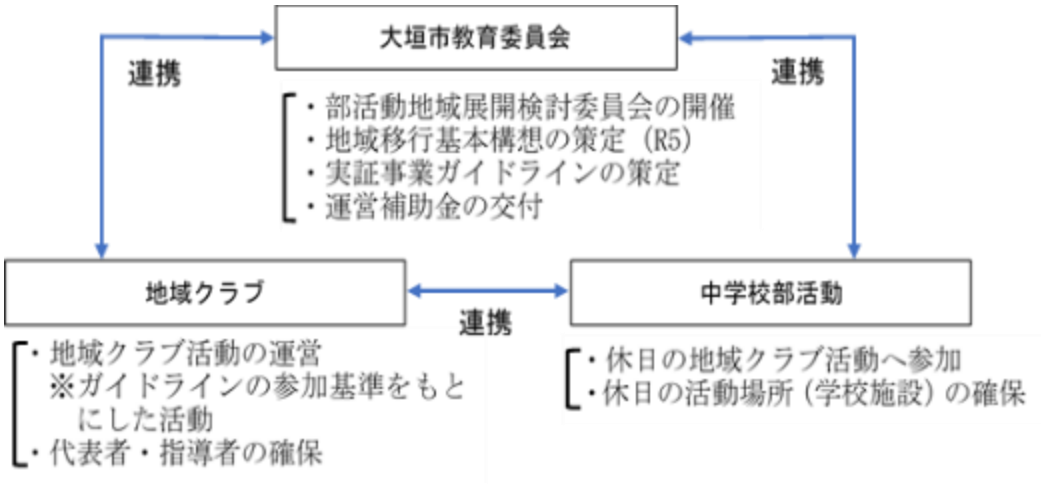
スポーツ庁

主な取組例

●大垣東部野球クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球
運営団体名	大垣東部野球クラブ
期間と日数	9月1日より地域クラブを実施 月4回程度
指導者の主な属性	少年団指導者・教職員
活動場所	東中学校・星和中学校
主な移動手段	保護者送迎、徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	24,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●代表者

役割：実証事業ガイドラインに則って運営する
　　円滑に活動できるよう連絡・調整を行う

●中核の指導者　1名

役割：実証事業ガイドラインの理念をもとに指導にあたる

●運営補助者　4名

役割：副代表、育成会長、育成副会長、会計

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項　関係団体等との連絡調整等に関する取組

地域展開できていない競技ごとに検討チームを開催し、地域展開の見通しをつける会議を開催した。令和7年度・1回目でバドミントン、サッカーが地域展開終了。1回目の会議で展開できなかった競技団体等は2回目の検討チームを開催し、方向を検討した。

令和7年度第1回検討チーム開催日程

5月8日（木）	バレーボール競技
5月9日（金）	ハンドボール競技（男子）
5月12日（月）	卓球競技
5月15日（木）	バスケットボール（男子）
5月16日（金）	ソフトテニス競技
5月19日（月）	バドミントン競技
5月20日（火）	ハンドボール競技（女子）
5月22日（木）	バスケットボール競技（女子）
5月23日（金）	サッカー競技

令和7年度第2回検討チーム開催日程

11月14日（金）	バレーボール競技（女子）
11月17日（月）	卓球競技
11月18日（火）	ハンドボール競技（男子・女子）
11月20日（木）	バスケットボール（男子）
11月21日（金）	ソフトテニス競技

検討チーム参加者
- 地域クラブ代表者、指導者
- 地域展開していない部活動の顧問、指導者
- 競技団体関係者
- 少年団関係者
- 大垣市体育連盟
- 教育委員会　学校教育課・社会教育スポーツ課
  （吸収・合併やエリア分け等についても検討するため、すでに立ち上がったクラブ代表者の方も参加）

取組の成果

競技ごとの検討チームについては、7年度2回実施した。昨年から通算5回目となり、回を重ねるごとに参加する競技団体が減っていった。最終的に7年度は18クラブが成立した。種目により温度差や状況が異なるが、学校、体育連盟、競技団体代表者のおかげで地域クラブ化が進んだと言える。

今後の取組における課題

検討チーム
- 組織としてしっかり機能している競技団体ほど、地域クラブ化が進んでいる。
  （リーダーシップを発揮して調整ができ、スムーズに立ち上がる。個人ではなく、競技団体の未来を考慮してクラブ化に踏み切っている）
- 組織が脆弱、または指導者が自分のチームしか考えていない人が多い競技団体は、地域展開するのに時間がかかったり揉めたりすることが多かったように感じる。

課題への対応方針
- 今後、学校ではなく、競技団体（全国から県、市町村に存在する〇〇連盟等）に展開を協力し、補助金をつけて行くのが早いと思われる。地域の子どもたちという側面と、競技団体が普及の側面でしっかり拾っていけるようにしていくシステムが必要に思う。
- 学校や自治体に任せすぎていると感じる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

①大垣市の公的支援見直し

- 市として公的支援を見直し、指導者謝金、運営補助金、生活困窮世帯への補助について、補助率を1/4から1/2にあげた。
- また、謝金対象者も1人増員し、困窮世帯への支援額も増額し、保護者の財政負担を減らすようにした。
- クラブ、保護者の財政負担を減らすことに成功した。最大10万円以上の補助増額となり、各クラブ関係者より喜びの声が聞かれた。

取組の成果

支援項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
指導者謝金	1人	2人	2人
	謝金上限1,000円 ×144時間×1/4	謝金上限1,000円 ×144時間×1/2	謝金上限 増額を検討
	1クラブ当たり 36,000円	1クラブ当たり 144,000円	144,000円＋α
運営補助金	（31,500円+50円×加入生徒）×1/4	（31,500円+50円×加入生徒） ×1/2	変更なし
大会参加補助金	地域クラブも対象とする （全中東海出場時）	変更なし	変更なし
参加助成補助金	（困窮世帯に対して） 上限2,000円	上限5,000円	変更なし

今後の取組における課題

- 地域クラブも増加し、指導者も増えていることから、毎年少しずつ金額を上げていくことについて、市の財政課から難色を示されている。（予算の肥大化）・指導者謝金について、平日の指導分も計上していけるようにする必要がある。補助の対象も2人になっているが、3人4人と増やしていきたい。

課題への対応方針

- 財源確保については、市はもちろんのこと、企業や市民等にも協力を仰ぎ、地域一丸で取組むようにする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等　**持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算**

取組事項

②大垣市地域展開応援プロジェクト

1　水の都おおがきクラウドファンディング

- 立ち上がった地域クラブの指導者謝金、運営補助にあてるため、市役所地域戦略創生課と共同してクラウドファンディングを立ち上げた。

◇　プロジェクト名
運動系・文化系　地域クラブ応援プロジェクト
（中学校部活動地域展開）

◇　プロジェクトの目的
令和6年度よりスタートしている地域クラブ活動が持続可能な運営を行うことができるよう、運営に関する費用を支援する
◇募集期間（最長90日間）
令和7年12月1日（月）～令和8年2月28日（土）
◇事業内容（活用先）
持続可能な運営を支えるよう、指導者謝金・地域クラブ運営補助金として活用
◇目標金額　200万円
◇申込方法
ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」にて申し込み
◇留意事項
ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングのため、市外の方には寄付額に応じて市の特産品等を送る。

取組の成果

1　水の都おおがきクラウドファンディング
期間は90日間であったが、予想以上の反響があり、500万を超える寄附があった。地域クラブの負担はもとより、市の財政の負担減にもつながっている。
集まった金額は、地域展開に係る事業に充てることとなっている。

水の都おおがきクラウドファンディング
達成金額
5,454,000円　目標達成

今後の取組における課題

- 今回のクラウドファンディングは、地域展開が本格化する令和8年度に向けて実施した単発的なものであり、毎年開催できない。

課題への対応方針

- 平日の地域展開が恒久化することが決定する等、財源がさらに必要になった場合に、2回目の実施ができるとよいと考えている。
- CF以外の方法や企業からの支援も検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等　　**持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算**

取組事項

②大垣市地域展開応援プロジェクト

2　大垣市未来づくり基金活用事業【子育て分野】

- 企業への意向調査を経て、市内企業より基金を部活動地域展開に使用していただくことが決定したため、構想を作成。
- 令和8年度の休日地域クラブ完全実施に合わせ、地域展開したクラブを対象に、3年間で一度、10万円の補助をすることとなった。

取組の成果（見込み）

- 補助内容は、大型備品や消耗品等とすることとなり、地域クラブの経済的負担を大幅に減少させることができる。
- 地域クラブが持続可能な運営を行うことができるよう、運営に関する費用（備品購入費等）を支援し、子どもたちのスポーツ・芸術文化活動の機会を確保するものとなり、保護者の負担軽減が期待できる。国が提唱する地域展開の趣旨と合致し、地域全体で中学生の文化スポーツ活動を支える仕組みづくりの一環となる。

年度	補助額 （1クラブ上限額）	対象条件
令和8年度 ～令和10年度 （新規）	1クラブ 100,000円 （50,000円×2も可）	①　大垣市に申請を認められた地域クラブを対象とすること。 ②　3年間に1回の補助とすること。 ③　保護者負担では賄えない、生徒に還元できる備品・消耗品であること。

今後の取組における課題

- 基金により備品消耗品の補助のめどがついたが、継続できるか未知数である。
- （単発の補助で終わりたくない）

課題への対応方針

- いくつかの市内企業と連携協定を結び、支援の輪を広げるとともに、現在ある基金の継続を働きかける。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

収支バランス

地域クラブの運営状況（現46団体の平均）

項　目	平　均	最　小	最　大
月会費	1,800円	500円	3,000円
生徒人数	22人	8人	46人
指導者謝金（時給換算）	1,113円	700円	2,000円
指導者人数	2.5人	1人	6人

＜収支状況＞
- 「その他収入」は主に従前の部活動からの寄付で、次年度以降なくなる可能性が高い。
- 「市補助金」と「その他収入」がなくなった場合、生徒1人当たり約2,000円の負担増となる可能性がある。

【地域クラブの収入支出平均（現46団体の平均）】

●収入

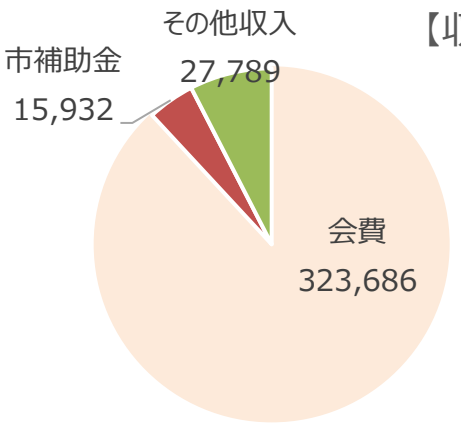
項目	費用	割合
会費	323,686	88%
市補助金	15,932	4%
その他収入	27,789	8%
合計	367,407	

※指導者謝金については、市とクラブで折半している。市からの謝金補助は指導者の口座に直接振込のため、クラブの収入に計上していない。

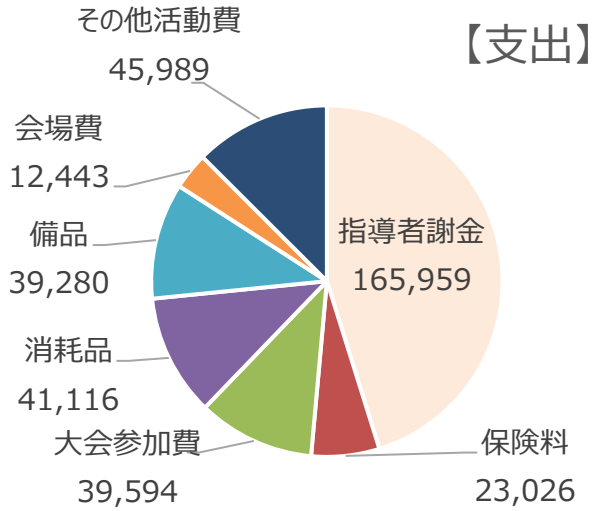
●支出

項目	費用	割合
地域クラブ活動費	367,407	100%
諸謝金（指導者）	165,959	45%
会場使用料	12,443	3%
消耗品費	41,116	11%
備品費	39,280	11%
携帯電話レンタル料	0	—
大会参加費	39,594	11%
生徒・指導者保険料	23,026	6%
その他	45,989	13%
合計	367,407	

【収入】



【支出】



2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

◎　事業目標（最終的に目指す姿）

地域のスポーツ・文化資源を最大限活用しながら、社会教育の一環として、学校部活動の教育的意義を継承・発展させるとともに、競技志向のみに偏ることなく、スポーツ・文化活動に親しむ多様な機会を確保し、豊かに生きる資質・能力を育む場を提供する。全ての学校部活動の休日の活動を、令和7年度末までに新たな実施主体が行う活動へ展開する。
また、制度設計を見直し、受け皿確保に向けた取組を推進する。

●成果の評価

実施時期	令和6年4月	令和6年9月	令和7年4月	令和7年9月	令和8年4月（見込み）
展開部活動数	3	12	27	30	15
展開数累計（展開率）	3（3%）	15（15%）	42（42%）	72（72%）	87（87%）
地域クラブ設立数	3	7	18	18	10
地域クラブ累計	3	10	28	46	56

目標値　：　令和7年末に運動系部活動地域展開100%
現　状　：　令和7年末までの展開率87%　　評価B

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●成果の評価

～地域展開できない理由～

- 立ち上げまでに係る手続きの煩雑さ、どう進めてよいのかわからない不安感からくる足踏み。（保護者クラブのままで・・）
- 謝金の割に、手間がかかる、責任も大きい。（提出書類、対応等）
- 今のままの運営（保護者クラブ形式）が楽。
- 配慮する生徒がいるため、展開できない。

→各学校育成会へ出向いてのきめ細やかな説明等により、理解をいただき解消。

- どこかと合同で展開したいが、距離的に厳しい。合同先がない。
- 指導者がいない。

指導者・代表者が確保できない理由

⓪単純に指導者不足。（卓球・ソフトテニス）
①資格がない、資格取得が面倒くさい。
②コーチなら良いが、監督になってまでトップで見るのは厳しい、その気がない。
③他の中学校の生徒まで預かるのは厳しい。（中心となって指導する責任の重さ）

→人材バンク活用、広く指導者募集、バックアップ体制の説明により解決へ。

- 規制（練習時間等）に縛られたくない。

→強化していきたい考えが強い部活動については、地域クラブ化への抵抗感から民間クラブへ移行。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●成果の評価

当初予想された事業効果とリスク
効果と評価
リスク（想定されるリスクを中心に記載）
Aリスクは回避されている　Bある程度のリスク　Cその通りになっている

・少子化による学校の小規模化に伴い、部活動の活動が限定されつつある現在、関係する団体や指導的人材の協力を得て地域クラブとして実施されれば、生徒がスポーツをする環境を確保することができる。	A
・教員の資質・能力にかかわらず、部活動顧問が専門的な指導を求められるケースが少なくないのが実情だが、地域展開によって、専門的指導者の指導を受けられる可能性が広がる。	A
・部活動顧問教員の勤務負担軽減につながる。	A

・適切な指導者や受け皿となる団体確保が容易ではない。	B
・受け皿があっても学校から遠い場合、活動場所まで通う身体的・時間的負担が発生する。 →保護者の負担も増している部分がある。（ライフスタイルが崩れる）	B
・学校とは異なる場で教員以外の指導者が指導することで、勝利至上主義に陥り体罰がふるわれたり、事故が起きたりする可能性があり、安全に関わる配慮がより強く求められる。 →「指導者資格が必要」としたことで大きなトラブル、勝利至上主義はない 若干の苦情はあったが、クラブ、学校と共有し、改善方向に進んでいる	A
・保護者の経済的負担が大きくなる可能性がある。 →令和6年から令和7年に支援割合を増やし、改善がみられた。 令和6年公的支援について意見をいただき、令和7年改善 ① 指導者謝金　1人→2人　補助率1/4→1/2 ② 運営補助率1/4→1/2　　①②で最大約10万増額 ③ 低所得世帯補助　2,000円→5,000円	B

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●今後に向けて

令和8年度は本格展開開始
- 地域展開していない13部活動について、条件整備等の課題をクリアにし、可能な限り早期の実現を目指して検討を継続する。（具体的には令和8年夏、中体連以降新チームのタイミングで地域化を進める）
- 大垣市地域クラブ活動ガイドラインの早期策定。
- 将来的には、社会教育スポーツ課で地域展開後の文化系クラブも統括し、地域展開推進室的な部署での運営を目指す。その後大垣市体育連盟に主管を移行する予定。

〇市外生徒の受入れについて
- 市外の選手の受入制度を考えていくべきである。（許可するのか、いつからか等）
- 少子化が顕著になってきている近隣市町より、「加入したい」という声が聞こえてくる。
- 団体競技が自治体単位でもすでに組めない状況があり、制度がしっかりしている大垣市に入りたいとの声がある。（大垣市も市内だけではなく、統合を考える時期が来る）
- メリット、デメリットを明確にし、ルールを作りたい。（取り合いにならないように）

メリット	デメリット
・（団体競技をやりたい他郡市の）子どもたちの救済につながる。 ・地域クラブの人数減少や廃部が防げる。 ・クラブ員増員が見込まれ、運営費が安定する。 ・西濃地区の底上げとなる。	・勝利至上主義につながりかねない。 ・市内生徒の活躍の場が減ることにつながる。 ・地域クラブ員が他郡市の生徒ばかりになった場合応援されるのか、市として優先利用や補助は出るのか、地域が納得するのか。

2.実証内容と成果⑤

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●今後に向けて

〇持続可能な地域クラブ運営について
- 持続可能な体制を作るために、人（代表者・指導者）、物（施設や用具）の確保が必要
- クラブ卒業生が指導者で戻ってくる事例あり。循環型の人的システムを構築したい。
- 国から打ち切られるまで予算を取り続けたい（3、4人目の指導者謝金＋謝金UP）
- 地域クラブの統廃合の相談・検討・実施（少子化でさらに合併が必要な時期が来る）

〇平日展開について
- 「平日は部活動が残っていてもよいのではないか」と校長会からの声もある

〇新たな競技種目設立について
- 部活動にない種目の立ち上げ（運動系：相撲、柔道が候補）

〇市民への周知、PRについて
- 市民へPRパンフレット「魅力ある地域クラブ」を作成し、紹介予定
- 一般の人たちは地域展開について知識、興味関心がないと思われる。
- 学校関係者、競技団体、保護者だけでなく一般市民にも広く取組の周知をする必要がある。応援してもらう、支えてもらうには、地域展開の魅力を伝えないと始まらない。周知方法を広げる。
- 小学生への体験入部も考えていく。

〇市内外団体等との連携について
- 支援を頂ける企業を増やし、連携協定の締結を目指す。
- 今後大学、高校とも連携を図っていく予定。
- 文化連盟等にも打診し、受け入れ体制を構築していきたい。

2.実証内容と成果⑥

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

地域団体との連携　企業へのアンケート

■ 地域クラブに協力いただける内容について

学校部活動の地域展開に関して、市内企業・大学・高等学校に対し、大垣市の地域展開の状況を周知し、地域クラブへの関わり方について意向を調査するとともに、地域クラブの安定した運営に協力を依頼するもの

（1）対象

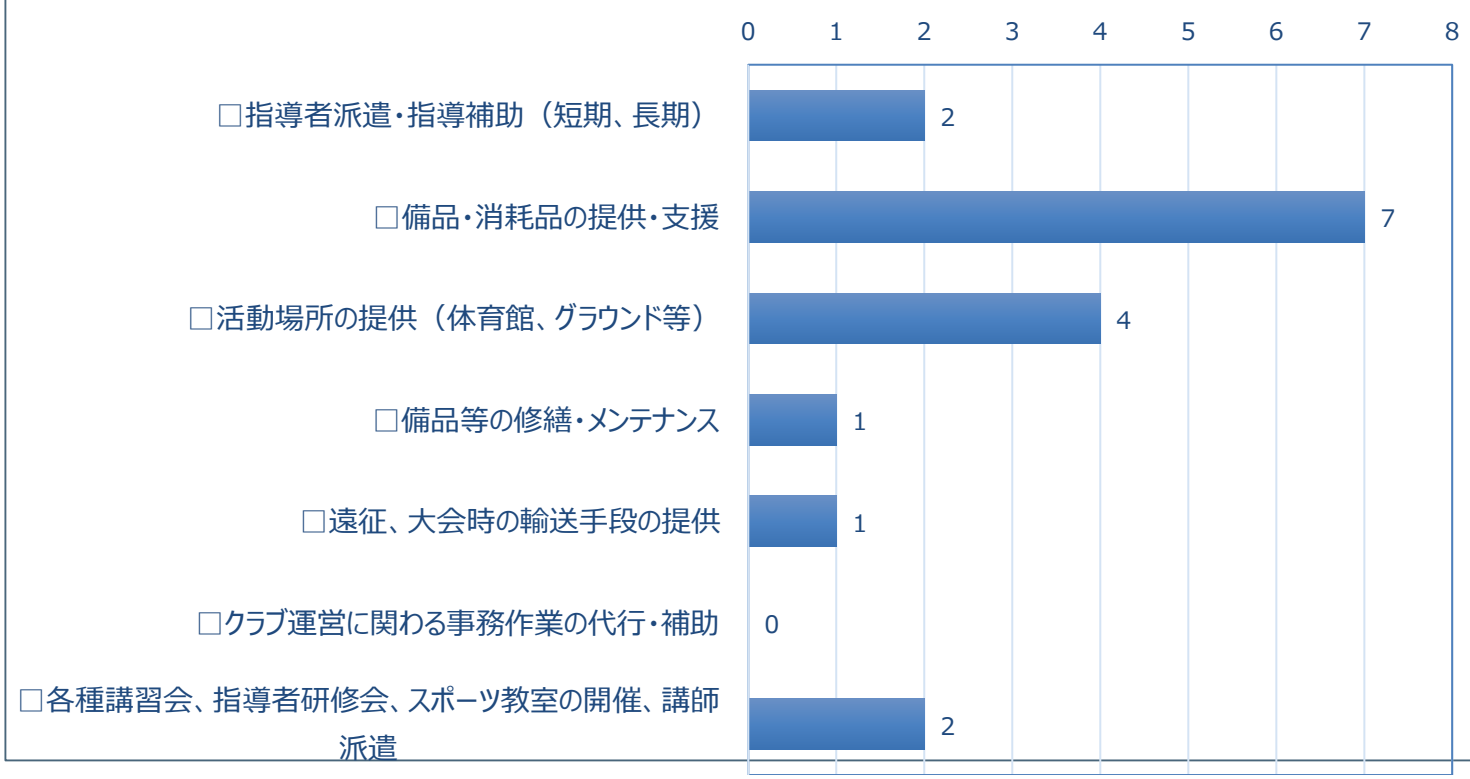
大垣市職域体育振興会所属企業　28社

（2）実施方法

メールにて依頼・回答

（3）調査時期

8月15日～9月15日



企業の声

- 弊社としても地域貢献したいと考えております。営業日の中で上記の点で協力できることがあれば可能な限りご協力したいと思います。
- 弊社の業種でご協力できることがあれば、検討させていただきたいと思います。
- 社内クラブ活動が縮小傾向にあり申し訳ございません。

2.実証内容と成果⑦

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

●市内教員の地域展開に関する意識調査結果

学校部活動の地域展開に関して、市内小中学校教職員に対し、大垣市の地域展開の状況や、地域クラブへの関わり方等について、アンケート調査を実施するもの。

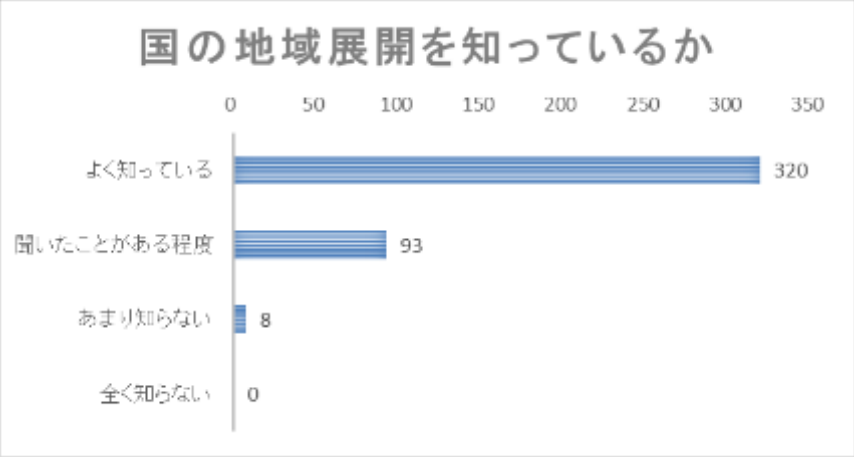
1　実施方法
　・大垣市電子申請サービスにより回答
2　対象
　・市内小中学校教職員
3　調査期間
　・令和7年6月18日（水）～令和7年7月4日（金）
4　調査結果（別紙参照）
　・地域展開について、国や市の方針は浸透している。
　・教員も地域の一員といいつつも、教員の仕事から部活動は切り離した方が良いと考えている教員が非常に多い。
　・女性の教員（特に年代が若い教員）が地域展開に積極的な立ち位置ではない。
　・小学校の教員の方が地域展開に積極的な立ち位置ではない。
　・20代、30代の若い先生方はスポーツの指導経験がなく、積極的な立ち位置ではない。

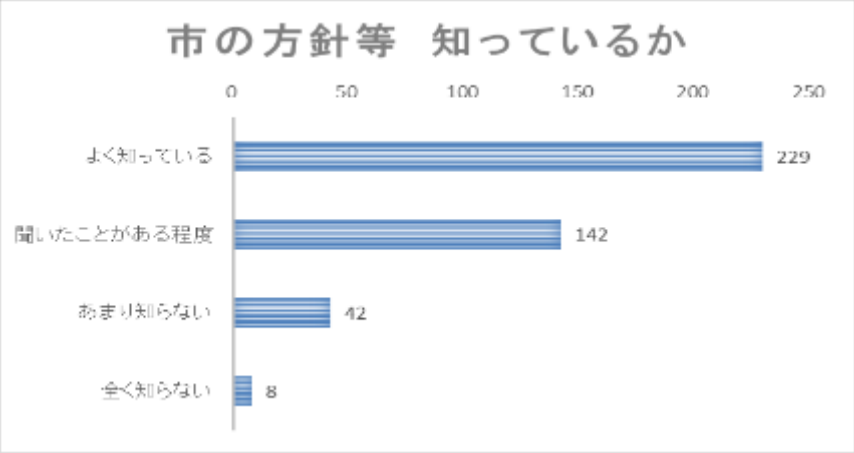
2.実証内容と成果⑧

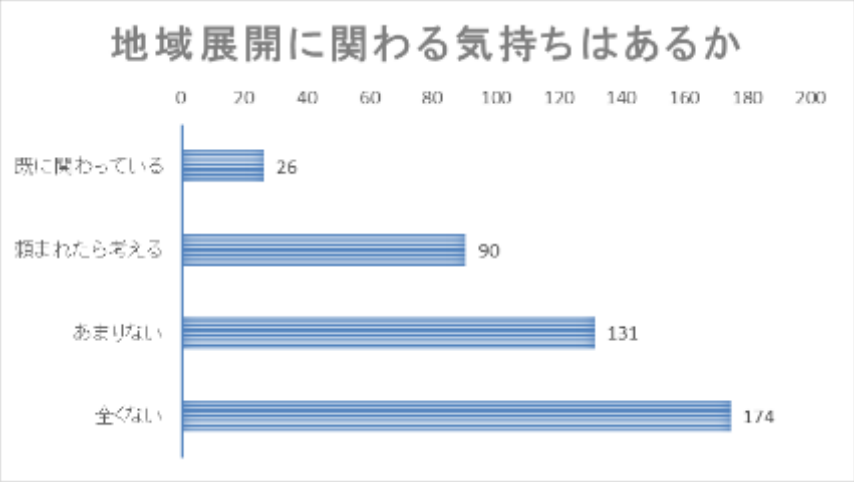
スポーツ庁

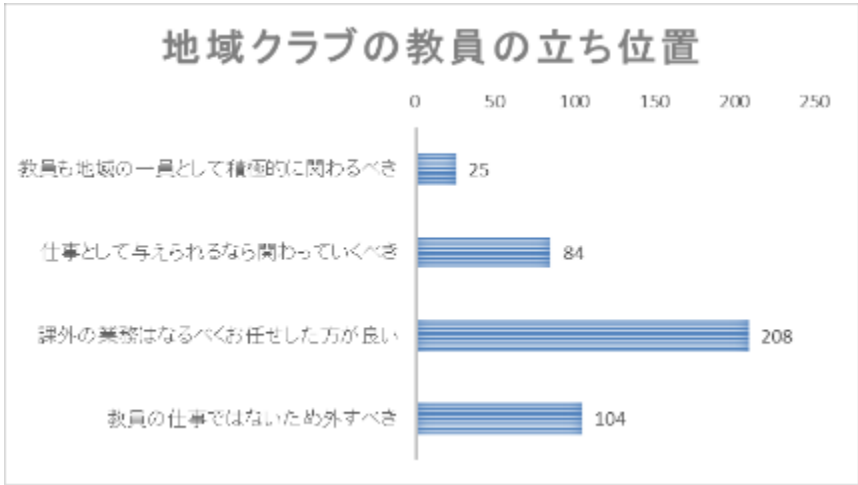
アンケート結果・参加者/関係者の声

教職員　地域展開アンケート結果　回答数421人（回答率65%）









2.実証内容と成果⑨

スポーツ庁

アンケート結果･参加者/関係者の声

教職員　地域展開アンケート結果（クロス集計）
女性の教員（特に年代が若い教員）が地域展開に積極的な立ち位置ではない。

クロス集計項目	問２：あなたの性別をご回答ください。			
		回答	男性	女性
	回答	回答数	181	240
問７： 地域展開された地域クラブについて、どんな立場でいるべきだと考えますか。	20 代	115	50	65
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	8	5	3
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	20	13	7
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	58	18	**40**
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	29	14	15
	30 代	96	53	43
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	2	2	0
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	18	11	7
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	44	24	20
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	32	16	16
	40 代	69	28	41
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	3	3	0
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	16	4	12
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	34	12	22
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	16	9	7
	50 代	96	32	64
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	9	5	4
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	19	6	13
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	48	12	36
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	20	9	11
	60 代	45	18	27
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	3	1	2
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	11	4	7
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	24	9	15
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	7	4	3

2.実証内容と成果⑩

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

クロス集計項目	問1:あなたの勤務する学校種別をご回答ください。	回答	中学校(後期課程)	小学校(前期課程)
	回答	回答数	146	275
問3:あなたの年代をご回答ください。×問7:地域展開された地域クラブについて、どんな立場でいるべきだと考えますか。	20代	115	37	78
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	8	2	6
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	20	8	12
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	58	19	39
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	29	8	21
	30代	96	44	52
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	2	0	2
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	18	12	6
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	44	19	25
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	32	13	19
	40代	69	28	41
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	3	2	1
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	16	5	11
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	34	14	20
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	16	7	9
	50代	96	27	69
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	9	2	7
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	19	6	13
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	48	14	34
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	20	5	15
	60代	45	10	35
	教員も地域の一員として、積極的に関わるべきだ	3	1	2
	仕事として与えられるなら、関わっていくべきだ	11	3	8
	課外の業務は、なるべくお任せした方が良い	24	3	21
	教員の仕事ではない。外すべきだ。	7	3	4

小学校の教員の方が地域展開に積極的な立ち位置ではない。

クロス集計項目	問2:あなたの性別をご回答ください。	回答	男性	女性
	回答	回答数	181	240
問10:これまでに部活動や少年団、クラブチーム等で指導したことはありますか。(複数回答可)	20代	115	50	65
	部活動指導経験あり	31	16	15
	少年団指導経験あり	5	1	4
	クラブチーム等指導経験あり	6	5	1
	指導経験なし	81	32	49
	30代	96	53	43
	部活動指導経験あり	49	40	9
	少年団指導経験あり	1	1	0
	クラブチーム等指導経験あり	4	2	2
	指導経験なし	46	13	33
	40代	69	28	41
	部活動指導経験あり	44	23	21
	少年団指導経験あり	1	1	0
	クラブチーム等指導経験あり	3	2	1
	指導経験なし	23	4	19
	50代	96	32	64
	部活動指導経験あり	58	25	33
	少年団指導経験あり	5	4	1
	クラブチーム等指導経験あり	2	2	0
	指導経験なし	37	6	31
	60代	45	18	27
	部活動指導経験あり	21	11	10
	少年団指導経験あり	2	2	0
	クラブチーム等指導経験あり	1	1	0
	指導経験なし	22	5	17

20代、30代の若い先生方はスポーツの指導経験がなく、積極的な立ち位置ではない。

2.実証内容と成果⑪

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

部活動指導経験ありの先生方にお聞きします。部活動指導はどうでしたか。	
やりがいがあった	38
自分も成長できた	16
生徒の成長が見られて嬉しかった	46
休みがなく辛かった	42
経験がない種目の指導は大変だった	74
違う競技を担当したかった	2
できればやりたくなかった	23

地域クラブの指導者等を受けたくない主な理由を教えてください。（複数回答可）	
時間が欲しい（土日は休みたい・家族の時間にしたい等）	305
指導できる経験、技能、自信がない	149
指導したいチームがない。チームを探せない。要請がない。	26
学校の仕事だけで精一杯だ。	206
既に他で指導している。	12

これまであった部活動について、どんな価値があったと思いますか。（複数回答可）	
体力向上・健康増進が見込める	309
規則正しい生活につながる	167
先輩後輩の礼儀ふるまいが育つ	234
生徒指導上、指導がしやすくなる	134
生徒のやりがい、居場所づくりにつながる	319
自己有用感・達成感が向上する	215
生徒とともに活動でき、信頼関係が作れる	174
生徒の成長を感じる、技能を伝える喜び	168
保護者との関係づくりに役立つ	84
競技団体（協会や連盟）との人脈づくりになる	40
価値はない	8
その他	2

教員の声

- 部活動以外の業務だけでも非常に大変なので、一刻も早く先生の負担から外されて欲しいと思います。
- 結局、中体連がある限り、教員の負担は無くならない。（今年度も地域クラブ化しているのに中体連の試合には借り出される。）
- 指導者が足りないから教員で補充するということがないことを願います。同調圧力で指導者にならなければいけない雰囲気が広まったら、大垣市の教員の成り手は減る一方と思います。やりたい方がやれる、やりたくない方はやらない地域展開であってほしいです。
- 期待することは、教員の負担軽減と専門の指導員に指導してもらえることで技術力が向上すること。心配なことは、部活動内でのトラブルを学校に相談されたときに、実態把握がしづらいこと。

2.実証内容と成果⑫

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

教員の声

- 小学校の教員は少年団との関わりが全くないが、児童の活動の場はちゃんと確保されている。中学校の教員も小学校の教員と同様にすべき。各家庭で受益者負担をベースに考えればよい。確かに土日の活動は減ってはいるが、まだ実施しているし、できる範囲で顔を出す、選手登録や大会申込等の事務処理・・・等中途半端に関わると分離できないので、いっさいの関係を切るべき。コーチとして活動したい先生方は、教員としてではなく、個人として指導していただくのが良い。

- 専門の指導者から学べることが一番期待することです。また、少年団のように保護者と指導者が協力して運営する（仕事の分担がはっきりしている）形になるとよいと思います。

- 多様化の進む社会の中で、学校の部活動にあるスポーツだけが児童生徒の健全な育成に関わる活動であるとは思わない。すでに、地域あるいは習い事の中で、芸術分野や学校にはないスポーツ等に親しみ勤しむ子どもたちもたくさんおり、その児童生徒の課外活動も尊重されるべきである。大垣市のスポーツは少年団の活動がきちんと確立されているので、中学生もそのまま続けることができるはずであり、中学校における教育活動とは切り離して考えてよいのではないかと思う。

- これからの部活動は、生徒が主体的に選択できることが魅力だと思う。他校と関わりながら、学校以外での自分の居場所や自己有用感が感じられる場所を自ら見つけていけることを期待する。それには、多感な時期の子どもの心身を多面的に捉えられる指導者の力量も大切だと感じる。

- 未経験者や指導する自信の無い者を「人数が足りないから」といって無理に指導者にするのは当人も子ども達も不幸になるだけなので、するべきではない。

- 子どもには、社会性を身に付けたり人との関わりを見つけつつ自己有用感を高めるいい場のため、積極的に進めるべきだと思う。ただし、教員も1人の人間であり、仕事を全うするのが一杯一杯の中、どう指導者として両立していくのかは心配。

- こどもたちの関係作りや、生徒指導、体力向上のためには、部活動をやった方が良いと思う。

2.実証内容と成果⑬

スポーツ庁

参考資料



【大垣市クラウドファンディング】



【教育委員と地域展開を語る会】





【地域クラブ　校長と代表者合意形成】



【指導者登録マッチング　練習参加し検討】

2.実証内容と成果⑭

スポーツ庁

参考資料



【大垣市クラウドファンディング　チラシ】

2.実証内容と成果⑮

スポーツ庁

参考資料

大垣市における地域クラブ認定制度の確立

基本基準		必ず満たすべき運用ルール
分類	個別基準	
活動実態に関する基準	①市の基本理念に基づいた、運営がされている。	・学校部活動の教育的意義を継承するとともに、競技志向のみに偏ることなくスポーツに親しむことができ、生徒の豊かに生きる資質・能力を育むことを基本理念としている。 ・活動方針を明確にしている。
	②活動時間について、本ガイドラインが遵守されている。	・休日（土、日）は、どちらか一日を休養日としている。 ・休日の活動時間は、原則、1日3時間までとしている。
	③中学校部活動の受け皿となる団体である。	・中学校部活動に在籍していた生徒の受入れ先となる団体である。（複数の部活動の生徒を1つの団体が受入れる場合等も可とする）（その学校の一部の生徒しか在籍していない場合には、上記の解釈に当てはまらない）
	④継続可能な代表者・指導者が配置されている。	・複数年、体制を整備できる代表者がいる。 ・複数年、指導を継続できる指導者がいる。（単年で保護者が務めるのは不可）
	⑤指導者が資格を保有している。	・中核となる指導者が資格を保有している。 （公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格　等）
	⑥暴力、各種ハラスメント等の不適切な行為を行わないことが遵守されている。	・公益財団法人日本スポーツ協会倫理規定第4条（暴力、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、差別等の禁止等）を遵守している。
	⑦市内の施設を活動拠点としている。	・市内の学校施設や体育施設を活動拠点としている。
	⑧安全管理体制を整備している。	・指導者及び生徒は、スポーツ保険等に加入している。 ・緊急連絡体制を整備している。（不測の事態に備え、予め、医療機関をはじめとした各種機関・団体等や団体関係者の緊急時に関する連絡体制を整えている）
運営体制に関する基準	⑨規約等が整備されている。	・規約等（規約・会則・定款等を指す）が作成され、整備されている。（規約等の提出）
	⑩事業計画・予算、事業報告・決算が適切になされている。	・事業計画・予算、事業報告・決算に関わる書類が作成され、クラブ団体内で報告がされている。（事業計画・予算、事業報告・決算の提出）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

① 基本構想の策定 実証事業ガイドラインの策定

令和6年

② 実証事業の開始

③ 検討チームによる地域移行の在り方の協議

④実証事業説明会（代表者指導者顧問保護者）

⑤実施団体と校長による合意形成活動スタート

令和7年

⑥各中学校育成会にて説明 ・未実施団体の検討チーム

⑦実証事業説明会 活動スタート 実証事業実施団体の拡大

⑧ ●教育総合会議 ●地域展開検討委員会 実証事業の成果と課題を整理

令和8年

⑨ 本格実施

①
令和6年3月に、「大垣市部活動地域移行基本構想」を策定し、令和7年度末までに、新たな実施主体である「地域クラブ」への展開を目標とした。
令和6・7年度は、実証期間としており、5月から部活動顧問や指導者、競技団体等の代表者による「検討チーム」を設置して協議を重ね、新たな実施主体と合意形成ができた部活動から順次、地域展開を行っている。

②
令和6年4月からの実施団体は、3団体、令和6年9月からは、7団体となった。
制度を採り入れ、運営が適切になされるか教育委員会で審議し、実施団体は実証事業ガイドラインで示す「基本理念」や「参加基準」に則って運営を行うことを厳守。

③
地域展開が難しい部活動、団体は、引き続き「検討チーム」において、地域展開の在り方を協議し、課題を洗い出し、方向性をつけていく。

④⑤
地域展開に目途がついた団体を対象に実証事業説明会を行い、書類等の申請について説明した。申請が通ったクラブ代表者と母体中学校長と合意形成を行い、活動スタートとした。（写真は実証事業説明会の様子）

⑥
7年度スタート時点で地域展開していない部活動がある中学校部活動育成会を対象に、市内の進捗状況や方針等を説明し、検討チームを実施して地域クラブ化を進める。





⑦
7年度中に2回検討チームを実施し、46のクラブが成立、令和8年4月に立ち上がる予定のクラブも決定。

⑧⑨
実証期間中の成果と課題をとりまとめ、持続可能な活動となるよう対応し、令和8年度からの円滑な実施を目指す。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

出典：大垣市地域展開検討委員会資料

地域展開推進ロードマップ

資料No.2-2

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度
国	改革推進期間	改革実行期間（前期Ｒ８～Ｒ10）			（後期Ｒ11～Ｒ13）
市	運動系実証期間（Ｒ６・Ｒ７）	休日は部活動なし　運動系地域クラブ活動　本格実施			
	文化系実証期間（Ｒ７・Ｒ８）		休日は部活動なし　文化系地域クラブ活動　本格実施		
	実証事業ガイドライン	R8国→県→　（仮）大垣市地域クラブ活動ガイドライン（国、県が定めた後、市として検討後作成）			
	検討委員会の実施	大垣市部活動地域展開検討会の継続実施　（平日展開の検討等）			
	実証事業における補助金の活用	本格実施における補助金の活用　謝金の賃上げ、運営補助アップに取り組む　企業からの支援集め			
		基金（3年間のうち1回活用　10万円）			2期目を依頼
	市外生徒の受入れ検討				
	施設に関する課題の把握	課　題　に　対　応　し　た　学　校　施　設　開　放（優先利用＋使用料免除）			
	運営母体の協議	教育委員会			移管先検討調整
地域クラブ	４月実施　９月実施	４月実施　９月実施	地域クラブの統廃合の相談・検討・実施		
	平日展開できる場合には随時実施				平日の地域展開を検討
	休日の活動を実施	休日に加え、平日の活動を徐々に実施			
学校部活動	学校と地域クラブの連携	練習会場優先使用、大会案内共有、中体連参加、生徒指導事案　顧問と地域クラブ指導者の連携を密にしていく			
	【休日の活動】部活動・保護者クラブ	地域クラブ化できない場合には、休日部活動・保護者クラブを実施		令和10年度以降、校内で部活動のような、文化スポーツに触れあえるクラブ活動の場を設定	
		平日は部活動を維持			
	地域クラブ団体の周知と募集　（継続）				